

平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472100864	事業の開始年月日	平成15年6月1日	
		指定年月日	平成15年6月1日	
法人名	株式会社 アートプロジェクト			
事業所名	グループホーム鎌倉常盤の家			
所在地	(248-0022) 神奈川県鎌倉市常盤615-3			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	27	名
		ユニット数	3	ユニット
自己評価作成日	平成24年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月12日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472100864&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

立地状況・周辺環境の特性を生かし、自然に触れる機会を多く設けるよう考えています。また、3ユニットの特性を生かし、行事等の際には、利用者全員を集めて大規模に開催しています。また、今後に関しては、日中に行う趣味・娯楽活動やレクリエーション活動に今まで以上に力を入れ、利用者一人ひとりに日々の満足感を得ただけよう努めていこうと考えています。さらに、家族や地域の方からも満足して頂ける施設作りを目指しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年2月23日	評価機関 評価決定日	平成24年3月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホーム鎌倉常盤の家は、JR横須賀線鎌倉駅西口から桔梗山行きバスで5分ほどの仲の坂バス停の前にあります。鉄筋3階建て、3ユニット27名定員で開設して9年になります。事業所はバス通りに面しており、隣に新設された保育園の子どもたちの遊ぶ姿が見えたり、道路の向こう側に医院などがありますが北側には樹木が茂る小高い里山が控え自然環境にも恵まれています。</p> <p><優れている点> 事業所の運営母体は静岡県を中心に医療や福祉の事業を展開し、病院や老健（老人保健施設）、グループホームなど多くの施設を運営しバックアップしています。事業所は法人本部の支援を受けて、利用者の満足度向上に必要な、職員の介護力向上のための研修に力をいれています。新任職員への一般研修（基本理念など）と介護研修、現任研修として法定研修 院内感染対策、高齢者虐待防止他）年2回などきめ細かく決められています。法人本部が遠隔地に位置していることもあり、研修にはDVDなども使い、多くの職員がいつでも受けられるように配慮されています。</p> <p><工夫点> 職員はユニットごとに企画係、食材係、書類係、掲示係、薬係、庭師などの役割を分担し、責任を持って業務にあたり、意見や要望を提案しています。また、利用者ごとに担当制をとり、家族への窓口、居室の環境整備、医療関係の窓口、預かり金の管理などを通して利用者とのつながりを深め信頼を得られるように努めています。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム鎌倉常盤の家
ユニット名	1号館

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	様々な要請に対応するとともに、地域の雇用を守り、社会の安定に努めています。	地域の社会的役割を強く意識した法人の理念が玄関や事務所に掲示されています。職員は運営目標である「利用者の満足度の向上」が得られるために利用者一人ひとりのレベルに合わせた日中活動を提供できるよう努めています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お祭りや夏季のラジオ体操、地域の清掃活動等に出来る限り参加し、交流を深めています。	運営推進会議に参加される町内会長や地域包括支援センターの職員を通じて近くの八雲神社の夏祭り、盆踊りや夏季のラジオ体操、地域の清掃活動に参加し、地域の住民と顔見知りになっています。市の介護フェアに利用者の作品を出品し、紹介しています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ボランティアの方々に来設して頂き入居者と交流をして頂くことで当施設の事を理解して頂いています。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、当施設の活動報告や討論を行い、良い意見を反映しながらサービスの向上に努めています。	町内会長、地域包括支援センターの職員、後見センターの方など参加され年6回開催し、活動状況や災害時の避難場所の確認、地域の祭りの紹介など話し合っています。町内会の要望により、夏季のラジオ体操に駐車場を提供し地域との交流を深めています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事業者連絡会に参加し、日頃の状況を報告しています。	2ヶ月ごとに来所される地域介護支援センターの職員や運営推進会議に毎回参加される地域包括支援センターの職員とは状況報告、ケアサービスの取組み、空き状況など情報の交流や指導を受けています。市主催の介護フェアに参加し、協力しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行っていますが、施設内においては利用者が自由な生活を送れる様努めています。	毎年、権利擁護などの研修により身体虐待や暴言、無視などの精神的虐待の防止について職員全員で認識しています。利用者一人ひとりの単独外出の傾向や癖を把握し、出ていく気配を見落とさない見守りを努めています。玄関は夜間を除き、開錠しています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等通して周知徹底していることに加え、スピーチロックにはより一層注意を払っています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に「成年後見制度」を利用している方が数名おり、運営推進会議にも参加して頂いています。また、面会等を通じ、権利擁護の理解に努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間は掛かるが説明は丁寧に行っています。その場、若しくは後日に疑問が生じた場合にも出来る限り対応しています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者に関しては日頃の生活の中で、家族等に関しては、出入口に意見箱を設け耳を傾けています。また、それらに対し、可能な限り対応しています。	各居室には担当の職員が配置され、居室の清掃や衣類の整理などをはじめ利用者や家族とは馴染みの関係が築かれています。面会時に話し合ったり、遠距離の方には電話で細かく報告しています。家族の情報は業務日誌により職員間で共有しています。	家族の来訪時や電話の連絡などで把握に努めています。今後これらに加え事業所の各種行事などに多くの家族の参加を得て意見や要望を聴ける機会を増やしていかれる事も期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員会議を実施し、意見や情報の交換等を行っています。	職員会議、ユニット会議、サービス担当者会議などにより利用者一人ひとりの情報や提案を出し合い、ケアに反映しています。年中行事の企画係、薬係、食材係、書類係、掲示係、庭師など責任ある分担制を取り、意見や要望を提案し職員が運営に参加しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の能力・特性を把握し、それらを活かす様業務に努めて貰っています。また、職場の環境を整えたり、職員の意見を聞くことでやりがいや意欲に繋がるよう考慮しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部・外部の研修の参加を促しています。また、初心に戻る機会を設け、介護の基本を常に心掛けるよう監視しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	情報交換会や交流会等に可能な限り参加し、横の繋がりにも重点を置いています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の話に耳を傾けることはもちろん、行動や表情、様子等から変化を見付け個々の把握、信頼関係の構築に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会や電話連絡等を通じ、家族の思いや疑問等を聞くようにしています。また、それに対し、納得して頂けるまで説明等を行っています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々な要望に対し、可能な限りで実施することに努めています。また、他職種等のサービスについて学び、それらを踏まえ提案等を行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で互いに支え合い、相互協力している中で信頼関係を築くようにしています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人、家族双方の気持ちを理解した上で、状況に応じたサービスの提供を実施しています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や家族との外出になるべく制限をかけないように努めています。また、思い出話に耳を傾け、利用者の生い立ち等の理解にも努めています。	面会は深夜を除き、いつでも可能です。入居時に利用者が住み慣れた環境や生活習慣、趣味などによる暮らし方を把握し、それらが継続できるよう支援しています。また、入居後に生じた利用者同士や職員、ボランティアなどとの関係も大事にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	「談話構築」で利用者一人ひとりが孤立しないように話を振りながら、利用者同士の関係構築も視野に入れた上で支援を行っています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時には「いつでも遊びに来て下さい」という言葉を掛けています。また、外部で遭遇した際には話掛け、現状の把握等に努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	認知症により言葉で表現することが困難な方が多い為表情や行動等から意向の把握に努めています。	利用者と接する日常の中で一人ひとりの表情や行動、反応で思いを汲み取っています。また、家族からの情報や気づいたことは申し送りノート、介護詳細記録、気づきノートなどで職員間で共有し、ケアプランに反映させています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や介護記録等を詳細まで記入し、それらを元に今までの経緯の把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別ケアの概念を重視し、職員間での情報共有、申し送りの徹底により一日一日の違いも把握するよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向を確認した上で介護計画の作成を行っている。また、サービス開始前には説明と同意を頂いている。</p>	<p>申し送りノート、介護詳細記録、ユニット会議などで利用者の状況を把握しています。評価表でケアプランの達成状況を評価し本人や家族の意見を聞き、サービス担当者会議でケアプランを作成しています。会議に利用者本人が出席することもあります。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録やモニタリング等により、基本的には計画作成担当者を中心に実践、見直しを検討しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の声に耳を傾け、当施設での環境等を考慮した上で可能な限りサービスの幅の拡大に努めています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>常日頃より見守りの重視を念頭に置きながらサービスの提供に努めています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時にかかりつけ医を選択して頂いています（今までのかかりつけか、当施設の協力医か）。また、医療機関との連携にも努め、医療の重視も視野に入れたサービスの提供を心掛けています。</p>	<p>かかりつけ医は入居時に選択でき、入居前の主治医を継続している利用者もいます。事業所前の道路を隔てた向い側に協力医院があり、職員が付き添って通院することが多くなっています。必要に応じて、歯科医や精神科医も往診に来ています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中での些細な変化にも着目し、場合によっては家族と相談した上で、医療機関の協力をお願いしています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主に電話連絡にはなってしまうが、他の用事で医療機関に行った際には、併せて状況把握したり、担当の医師、看護師、ケースワーカーに施設での生活について重視することを確認したりしています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態を把握、一番最適な環境の判断、家族への説明を行っています。また、他職種とも連絡を取り、状況に応じた判断が出来る様努めています。	事業所の運営母体は医療と福祉の事業を大規模に展開していることもあり、「最終的には医療サ-ビス」という方針としています。入居時に利用者、家族に説明し同意を得ています。重度化した場合、家族や関係機関と相談しながら対応をしています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルや研修にて知識を収集しています。また、主治医等に教わることもしています。そして、状況に応じた対応方法を周知把握したうえで、日々の業務に努めています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを元に避難経路、避難方法の把握をしています。また、訓練にて身体にも覚えさせています。当施設が使用できなくなる事を想定した場合の避難場所も地域の代表者と相談し決定しています。	東日本大震災の際は被害はありませんでしたが、余震、停電もあり1・2・3ユニットの利用者全員が3日間1階リビングで過ごしました。全く混乱無く仲良く過ごせています。災害時には町内の消防団の協力が得られることになっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	無意識的に発してしまうこともあるものの、言葉の内容により利用者の羞恥心を広げてしまうこともあることを理解し、言葉の重みを意識した上で、声掛け等する様注意しています。	事業所がバス道路に面しているため、外壁にメッシュデザインによる覆いが設置されプライバシーが保たれるよう配慮しています。食事作りや日中活動の中で一人ひとりの利用者のできることや楽しめることを丁寧に見つけ誇りが持てる様支援をしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が希望や思いを表した時は、家族と相談した上で、再度確認し、自己決定させるよう働きかけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「あっち立っていればこっち立たず」と集団生活の中ではなってしまう事もありますが、個々のペースに配慮し、希望に沿っていけるよう支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選択肢を与えながら身だしなみの支援を行っています。髪型に関しても個々に合うよう散髪を依頼しており、個人の尊重を優先しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嫌いなものはあまり提供せず、食事を楽しんでいただけるよう味付けを工夫したりしています。また、準備や片付けもなるべく利用者に手伝って頂くよう促しています。	以前は業者によるお弁当を利用していました。昨年からは各ユニットごとに職員が工夫して作り、できたての温かい食事を提供して喜ばれています。準備や片付けで出来ることは利用者も参加しています。利用者嗜好調査をして献立に反映するよう努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの状態に応じて味付けや良、形態を変えて提供し、摂取量や意見等を記録し見直すよう努めています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>歯の噛み合わせが悪い時には家族と相談し歯科受診を提案しています。また、食後は個々の口腔状態を見て歯磨きを促したり、支援したりしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄の失敗を減らす為、個々のライフスタイルに応じトイレ誘導や声掛けを行い、習慣付くよう努めています。</p>	<p>排泄チェック表で排泄パターンを把握して、さりげなく誘導しています。歩行力を維持するため、できるだけ車イスの使用を避け、職員が手引きして一緒にトイレに行きます。夜間は居室入口のセンサーで利用者の動きを知り安全にトイレに誘導しています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェックを行い、水分補給や食事の形態の工夫に努め、時にはかかりつけ医に相談し指示を仰いで対応しています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の気分に合わせ、集団で入ったり、個人で入ったりして満足を得て頂くよう努めています。利用者の様子をうかがいながら支援を行っています。</p>	<p>浴室は2～3名で入れる程の広さで浴槽のフチが低く作られ、入りやすいように配慮されています。入浴は各利用者の状況や希望に合わせて入っています。同性介助を心がけていますが、職員配置上、困難な場合は利用者の了解を得て介助しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や環境を理解し、少しでも安心感を与えられるような雰囲気を作るよう努めています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を確認し、内容を把握するとともに、症状の変化にも気付けるよう観察しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事の手伝いや趣味・娯楽、行事等を実施し利用者の自己性や満足感を感じて頂くよう日々努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出要望が強い時には特に家族と相談しながら、散歩や外食の環境を作り、気分転換に繋がるよう、可能な限り考慮しています。	気候、天候、体調などに配慮しながら、利用者の希望に合わせて近隣への散歩や買い物に出かけています。遠出の外出は家族の協力を得て希望に添えるように支援します。入居期間が長く介護度が高くなるにつれ、本人や家族も外出が少なくなるのを支援しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個人に金銭管理をさせたり、渡したりすることはしていないが、家族の了解を得た上で本人の要望した物を購入し提供するようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の理解の元、電話や手紙のやり取りが可能な環境作りに努めています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	特に共同スペースの環境作りに力を入れており、対面式の台所やテーブルを配置することで会話が絶えないよう努めています。	リビングはユニットの玄関、対面式台所、事務室が一体となっており、広々と明るい造りです。大きなソファや大小のテーブルなどが置かれ利用者はそれぞれに寛いでいます。棚には季節の花、壁面には利用者の作品や表彰状などが飾られています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は個室なので、自己の尊重に繋がると考えています。また、共同スペースでも完全な場所の固定はせず、自由に行動できる環境作りに努めています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	元々使用していた物を持ち込んで頂き、慣れた環境に近い配置作りに努めています。また、気分に応じた変化に合わせた支援も行っています。	居室は南側に位置し日当たりも良く、温かく明るい雰囲気です。クロ-ゼット、洗面台、エアコン、出入り口に安全確認用のセンサ-が備えられています。利用者の持ち込まれたベット、タンス、机などが安全に配慮して置かれています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯や掃除等が自由に行えるよう配慮しています。物干し竿も利用者の届く高さに調節し、手伝って頂ける環境を作っています。また、建物内はバリアフリーで日頃より安全に生活が出来るよう配慮しています。		

事業所名	グループホーム鎌倉常盤の家
ユニット名	2号館

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「峠の茶屋」「心の休み処」のような安心してくつろげるような環境作りに努めています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りや盆踊り、ラジオ体操に参加することで交流の場を設けています。また、ボランティアの来設により、施設内外での交流の場を作るよう努めています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	当施設の考え方を理解して頂き、独自の特色として把握して頂いている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる			
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている			
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	様々な意見を助言と考え、可能な限り、改善、反映に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の尊重に耳を傾け、可能な限り対応することで本人の安心を得られるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相互に話し合いを進めながら双方が納得することで信頼関係の形成に繋がると考えています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護従事者は利用者と家族の要望を確認し、それらを踏まえサービス提供が出来るよう努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居前の状況を把握し、共に快適な生活が送れるよう配慮、行動しています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者と家族の関係を把握した上でそれぞれの要望を反映させながら利用者の生活の満足度を優先に支援を行っている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会を通して、関係性の継続を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々のペースに合わせながら、関係性の構築に繋がる支援を心掛けています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	外部で本人や家族を見かけた際には挨拶をしっかりと行い、談話することで現状の把握に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや要望を理解することにより一層重点を置いています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	当施設での生活が、それまでの生活に馴染みを感じさせるような環境作りに努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の1日の過ごし方や心身の状態を記録し、日々の変化にいち早く気付けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者のニーズを把握した上で、家族や必要な関係者と協議し、本人の現状を第一に考えた計画の作成に努めています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や生活状況（食事、健康状態、ライフサイクル等）を介護記録に記載し、それらを確認しながら介護計画の見直しを検討しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じ、時によっては今まで実践した事のない内容であっても挑戦し、サービスの質の向上に繋がるよう努力しています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者が安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るよう、日々努力しています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に元々のかかりつけ医か当施設の協力医かを選択して頂き、受診等を通して双方の情報の共有に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中で気付いた点や変化を職員間で相談し、状況によっては掛かりつけ医の医師や看護師等に相談し指示を仰いでいます。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報の共有を密にし、医療機関での生活に慣れてしまわないよう早期の退院に対応できるよう、日々能力の向上に努めています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の重度化や終末期を感じた時には速やかに家族と連絡を取り、こまめに相談した上で、今後の生活状況や医療機関の必要性を検討した上で最適な環境の提案に努めています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	症状や状態に応じたケアの方法を理解し、適切なサービスの提供に努めています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ケースとして去年の震災の際は、職員と利用者が1号館に集合し、ライフラインの状況に応じ、職員間で相談しながら、適切な対応が出来るよう努めました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いには常日頃より注意を払っていて、無意識的に発してしまった適さない表現については職員間で注意し改善に努めています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、可能な限り利用者自身に選択肢を与えて自己決定して頂くよう配慮しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の希望を確認した上で、個々の状況と照らし合わせ、適切な支援を職員間で検討し、サービスの提供に努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の持参物が古くなり使用が困難であったり、衛生上問題が生じる場合には、破棄、交換しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を注文し、介護従事者が調理を行うようにしている事で作成の過程から利用者に見て頂ける事に加え、家庭的な出来たての食事の提供が出来るようにしています。また、利用者にも一部手伝って頂き、自立心の助長も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>摂取量や栄養バランスは個々の状況に応じて検討しています。また、摂取状況を記録し、経過の確認も行っています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>入れ歯の清掃や歯磨きの声掛け、介助を食後に必ず行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>年齢を重ねることで排泄介助を要することは可能性として高くなるが、可能な限り自立心の助長を視野に入れた支援を心掛けています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>利用者により、便秘になり易い方や、下痢気味の方がいます。ケアの際には個々の状況に応じたサービスの提供と対策を検討しながら支援に努めています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週3回程程度の入浴ではあるものの、利用者の意向に沿う方法で楽しみや満足度を得られるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	要望の実現化、ストレスの排除に着目し、不安のない生活を送って頂くことで、安眠や休息に繋がると考えています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	朝・昼・夕・眠前の服薬には十分に注意を払い、確認を怠らないよう努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ラジオ体操や散歩をすることで気分転換を図っています。冬期は体調面も考慮し、温かい日は外での散歩、寒い日や天候の悪い日は建物内の廊下を歩いて頂き、残存能力の維持にも努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の要望に沿い、家族と相談した上で外出の計画を検討しています。利用者全員で公園に花見をしに行く事もあります。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	介護従事者同行の上、利用者が要望した際には本人に購入して頂く等、自立心の助長に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの問い合わせの際、なるべく利用者自身とも話をして頂くよう環境作りに努めています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた飾り付けを行い、四季の雰囲気を感じて頂けるような環境作りを心掛けています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは個々の自由に生活して頂き、お茶をしたり、会話をしたりして日々の生活に楽しみを感じて頂けるよう配慮しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は利用者が落ち着いて生活が送られる環境作りを利用者とともに検討し、配慮しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はなるべく利用者自身にやって頂くというように自立心の助長を第一に、介護従事者は見守りの徹底に努めています。		

事業所名	グループホーム鎌倉常盤の家
ユニット名	3号館

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型であることを念頭に地域に貢献し、また地域の一員として相互に協力し支え合う施設を目指しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティアに來設して頂き、様々な事を披露して頂くことで、利用者の楽しみに繋がるとともに地域との交流の場であると考えています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市が主催の介護フェアにて利用者の作った作品を展示したり、施設の紹介をして、当施設を認知して頂くよう努めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月に一度運営推進会議を開催し、様々な議題を討論することで、気付かなかった点や新たな情報を収集し、サービスに繋げています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域介護支援機構の方が2ヶ月に一度來設して下さり、新たな情報を収集したり、適切なケアについて知識の幅を広げたりして頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の自由を奪わないよう常日頃より気を付けています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スピーチロックにはより一層注意を払っており、また職員同士で評価・確認し合うことで利用者への虐待を起ささないように注意しています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等を通じて権利擁護の理解に努めています。必要な状況に面した場合には、提案できるよう努めていきたいと考えています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族からの言葉に耳を傾け、職員間で検討し、可能な限り反映させられるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者、家族、介護従事者の全てが安心できるサービスの提供を検討し、実施に繋がっています。職員主体にならないよう気を付けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時は特にサービスに関する不安や意見に耳を傾け反映させるよう努めている。また、こまめに連絡をとり、情報の共有に努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族の要望をしっかりと把握し、職員同士で共通の意識を持ってサービスを提供するよう努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活を共にする家族のような意識を持ち接するよう努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者と家族の関係性を十分に把握し、家族とは互いに相談をしながら利用者自身にとって最適なサービスの提供を心掛けています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	住み慣れた環境や生活環境を十分に理解した上でコミュニケーションを図るよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	介護従事者は利用者間の関係性を常に把握していくとともに、利用者に対し対等に接するように努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	外部で会った際に挨拶とコミュニケーションを図るよう努めています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の歩んできた環境により思いや感じ方が異なるので、個々に合わせたケアを心掛けています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族と話す中で、多くの情報を収集し、把握しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を介護記録に記載し、個々の状態や気持ちの把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、家族からの要望に耳を傾け、相談しながら、最適なケアの方法や介護計画の作成に努めています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活状況を詳細を踏まえ記録し、それらを確認しながら、介護計画の見直しを検討しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の状態に応じたサービスの提供はもちろんのこと、趣味や娯楽活動により一層力を入れていきたいと考えています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>夏季に地域のラジオ体操に参加することで交流の場の形成、利用者の身体機能の維持に繋がっていると考えています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族同行、若しくは職員同行で受診をし、情報の共有をしながら、最適な医療の提供に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療の必要性の高い状況にいち早く気づき、適切な対応が出来るよう日々努力しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	こまめに連絡をとり、利用者の状態確認、今後の生活を検討しています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	職員同士で協力し合い、当施設で出来る事の共通理解、適切な環境の提案ができるよう努めています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	様々な症状や状態に応じた適切な対応方法を学び、ケアに結び付けられるよう努めています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練に真剣に取り組み、実際に遭遇した際にも慌てることなく適切な判断ができるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活環境や生活背景を把握し、一人ひとりに合わせた接し方やサービスの提供を心掛けています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の気持ちや要望を尊重するよう努めており、自立を念頭に可能な限りの反映や選択を求めるよう努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	束縛や抑制をせず、利用者の要望を尊重しながら生活して頂いています。職員主体の考え方にならないよう、個々の生活リズムの把握に努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自立の方は自分で選択している。要介護者においても選択肢を与え、自己決定したものを着用して頂くよう努めています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際は音楽をかけ、雰囲気を重視しています。時には利用者に食事内容の説明を行い、安心感を得て頂いています。準備等に関しては手伝いをして頂き、自立心も尊重しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の状態に合わせ、栄養のバランスや量の調節、形態の調節を行っています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎夕食後に入れ歯の洗浄を行っています。また、自立の方には歯磨きを促し、要介護者には口腔ケアの介助を行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>紙パンツ使用者が多いが、少しでもトイレにて排泄して頂くような環境作りと支援を行っています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を用い、日々の様子を確認しています。便秘気味の方には、食事療法を試みたり、内服により様子を見たりしています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は基本的に毎日実施しています。要介護者に対しては複数の職員で支援し、安全面を重視しています。また、個々の要望に応じて変化を付けるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠できるよう、日中はなるべく活動的に過ごしていただいています。例えば、ラジオ体操を行ったり、談話の機会が多くなるよう職員が間に入ったり、カラオケをしたりしています。夜間は利用者の就寝状況をこまめに確認しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬のないよう、名前の確認をしっかりと行い、内服時には利用者とともに再確認しています。また、内服したかの見守りも怠らないよう注意しています。副作用に関しても把握に努め、症状の変化にも注意しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の興味、関心のある事柄を把握するよう努めています。3号館は音楽やカラオケが好きな方が多いので、可能な限り実施できるようにしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現状、天気の良い日の散歩を実施する程度で、時間も限られてしまっています。今後は家族との協力を更に得て、利用者の希望に沿う外出の計画を実施していきたいと考えています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は職員が行っています。物欲の要望があまりないので、生活必需品の購入程度ですが、要望が出た際には可能な限り用意していくよう考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	数は多くありませんが、日々の状況や利用者の声を反映したお手紙を利用者とともに作成し、送るようにしています。利用者の中にはお便りが届く方もおり、楽しみにしている方もおります。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具の配置や室内の雰囲気に関してはなるべく利用者の声を反映し考えています。安全面にも配慮しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ユニット内では基本的に制限をせず自由に生活が送れる環境作りに努めています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	衛生面と安全面に配慮しつつ、利用者に自己決定して頂きながら家具の配置等を考えています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状況を把握した上で、可能な限り自立した生活を送っていただくよう支援しています。介護従事者は常に見守りの徹底に努めています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者や家族の意見を聞く機会が少ない。また、職員と家族の関わる機会が少ないため、家族が日頃の施設内の状況の把握が不鮮明になり、家族の不安感を高めてしまっている。	家族と施設の関わりの場を設けるよう努力していく。家族に施設に足を運んで貰う機会を一つでも多く設ける。	行事を行う際には家族にも通達し、参加を促す。介護計画作成の際に同席を求めてみる。行事や日頃の生活状況を写真等に収め、掲示することで、日頃の生活状況を家族に知って頂く。	12ヶ月
2	18	職員のほとんどが利用者とともに生活をしているという意識より介護職として勤務しているという意識の方が強い。その為、利用者に対して尊敬の意を表せていないように感じる。	利用者・家族の一人ひとりを尊重し、敬うことを忘れないよう心掛ける。職員主体の施設ではなく、利用者主体の施設を目指し、業務に努めていく。	日頃より、利用者の自立心の助長を心掛ける。また、職員同士で利用者に対する言葉掛けや接し方等を注意、助言し合いながら、一人ひとりがスキルアップを目指していく。	12ヶ月
3	49	利用者の外出機会が少ない。	ADLや天候の問題はあるが、可能な限り外出の機会を設け取り入れていきたい。	散歩を日常のライフサイクルの一つにしていく。また、行事の際には外に出て行う内容を企画し実施していきたい。また、家族協力も得て、更に外出の機会を少しでも多く設けるよう努力していきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。